

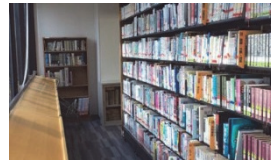
熊本高専
熊本キャンパス
図書館だより

第27号

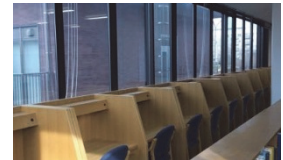
2016年2月発行



平成27年度校内読書感想文コンクール結果発表 P.1
最優秀賞感想文 P.2



卒業生からのメッセージ P.3-4
特集：学生アンケート調査結果 P.5-12



「希望の声」とは P.12
図書館統計データ P.13

くぬぎの森



前列左から南さん・原さん・吉田さん・小野原さん・坂口さん・木庭さん・高岡さん・本多さん・永田さん
(平成27年度校内読書感想文コンクール表彰式にて 2015年10月8日)

平成27年度校内読書感想文コンクール結果発表

【最優秀賞】	「坊ちゃん」を読んで	2年1組	木庭 駿
【優秀賞】	「月」に向かって「魚」は跳ねる	2年2組	坂口 梨子
【優秀賞】	「レインツリーの国」を読んで	2年3組	小野原 真子
【優秀賞】	生きる意味とは	2年3組	高岡 さり
【佳作】	想像すれば	1年2組	田上 摩耶
【佳作】	「アルジャーノンに花束を」を読んで	1年2組	永田 恭之
【佳作】	「永遠のゼロ」	1年2組	南 奈歩
【佳作】	「蜘蛛の糸」を読んで	1年2組	原 菜摘
【佳作】	「驚くべき日本語」	2年1組	本多 紗也
【佳作】	「メッセンジャー緑の森の使者」を読んで	2年1組	吉田 凌太郎

* 入賞者には副賞として、最優秀作(1編)賞状及び図書券(20,000円)・優秀作(3編)賞状及び図書券(6,000円)・佳作(7編)賞状及び図書券(3,000円)が贈られます。

第61回青少年読書感想文全国コンクールの熊本県審査で、2年3組高岡さりさんが「入選」、2年1組木庭駿さんが「佳作」となりました。

平成27年度校内読書感想文コンクール「最優秀賞」受賞感想文

『坊ちゃん』を読んで

2年1組 木庭 駿

私は、『坊ちゃん』を読んで、明治時代の風潮を感じる事ができた。また、国語の授業で夏目漱石について学んだことを踏まえると、この作品には、夏目漱石の性格や実体験が散りばめられていることに気付いた。その中で特に心に残ったことが三つある。

一つ目は、「おれ」が江戸っ子であることを誇りに思っている点である。明治は、西洋の文化を取り入れた時代である。しかし、それがすぐに浸透するわけなく、江戸時代の文化と西洋の文化が混じっていたのが明治の風潮である。だから、将軍のお膝元である江戸に住んでいるのを誇りに思う「おれ」の考えは、明治の風潮をよく表している。また、清が「おれ」との関係を封建時代の主従のように考えていたところからも、新しい考えが一般にまだ浸透していないことがうかがえる。作品には、汽車や牛肉、学校の制服など明治になって外から入ってきたものがたくさん出てきた。漱石は、江戸時代の末期に生まれ、大正時代の初期に亡くなっているから、まさに明治を生きた人である。従って、作品中にそれらのものを出してくるのは、漱石らしいと思った。この他、清や「おれ」が、四国に行くことをさも外国に行くことのように語っていた点が注目される。清に至っては、どちらの方角に四国があるかさえ知らなかった。汽車が通り、江戸時代より交通機関は増えた。しかし、地方はまだ交通機関が未発達であり、運賃が高かったから、都会から田舎へ行くのが困難だったのかもしれない。だから、四国でさえ外国のように語っていたのだろう。

二つ目は、「おれ」の性格が、漱石の性格と対照的に描かれている点である。「おれ」は、無鉄砲で、かんしゃく持ちで、面倒くさがりである。それに対して、漱石は、思慮深く、堪え性で、几帳面であったといわれている。このように「おれ」を設定したのは、性格を改めたいという漱石の気持ちが込められているからであろう。また、赤シャツに誘われ釣りに行った時に、赤シャツが時々読んでいた『帝国文学』を「おれ」はネガティブ視している。しかし、実際の漱石は、文学士ということもあって、松山中学に赴任していた時、『帝国文学』を読んでいたらしい。自分の作品で自分自身を否定しているわけだ。作品では、赤シャツは敵役である。だから、漱石は、敵役に今までの自分の姿を重ねることで、今までの自分を払拭して、新しい自分に生まれ変わりたいということを示したかったのだと思う。そもそも、文学士などの肩書きは近代化を推し進めるために明治政府が作り出したものである。ここでは、漱石自身が文学士であることを利用して、明治という時代を鋭く批評していると考えられる。さらに、「おれ」は、新聞屋にもネガティブ視している。漱石は、朝日新聞に入社していたから、よい意味で自己批判精神に富んだ作家だと思った。他の作品でも時代風潮批判や自己批判をしているので、これぞ漱石の真骨頂である。

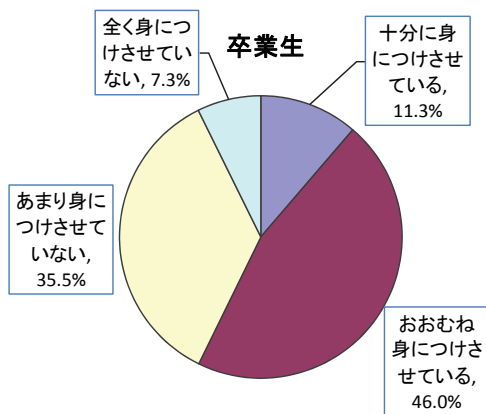
三つ目に、「おれ」と清との関係についてである。「おれ」は、家族に可愛がられずに生まれ育った。実際、漱石も幼少期に里子や養子に出されたらしい。だから、「おれ」は漱石の悲しさ、淋しさを重ねて描かれているのだろう。しかし、「おれ」には血のつながりこそないが、とても可愛がってくれた清の存在がある。清は、「おれ」に無条件の愛情を注いだ。そして、はっきりとした確証がなくても、「おれ」は立派な人になれると褒めていた。最初は別段何者かになれると思っていなかった「おれ」も、清の言葉の影響を受け、将来に希望を持つようになった。それから、四国の中学校に赴任した時に清に手紙を書いている。あの面倒くさがりの「おれ」が手紙を書くくらいだから、「おれ」は清のことを本当の家族のように考えていることが分かる。また、この作品の締めくくりを、「清の墓は小日向の養源寺にある。」としている。このことから「おれ」と清の関係はとても重要であることが分かる。「おれ」が四国の中学校にいた時、教養はあるが名誉・地位に執着する校長や、赤シャツがいた。それに直面した当初「おれ」は、とても萎えた。しかし、結局、赤シャツを懲らしめ、中学校の先生を退職し、清の元に帰ってきた。清は、教養こそないが、人間としての優しさに溢れている。だから、学問で教養を高めるのも大切だが、それ以上に人間味の成長が大切であるということ、を、「おれ」と清の関係で伝えようとしていたのである。

『坊ちゃん』は、勧善懲悪の痛快な小説である。それに加えて、漱石の自己批判や、当時の風潮批判までもが描かれている。この中編小説に、多くのメッセージや意味を詰め込むことができた漱石は、本当に優れた作家だったんだなと思った。

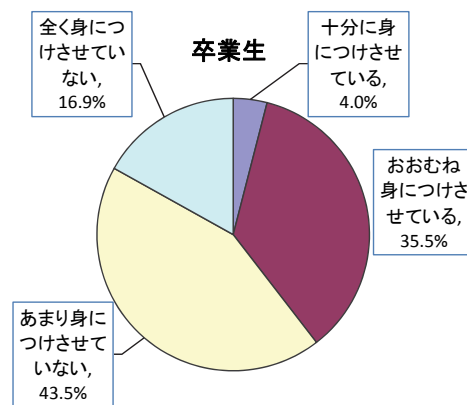
卒業生からのメッセージ ～学外関係者アンケート調査から～

図書館長 伊藤利明

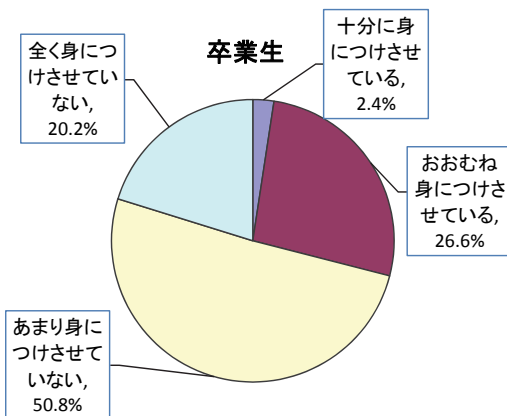
図書館だより「くぬぎの森」第27号の特集は、学生アンケート調査の結果発表です。その前に平成21年度の熊本高等専門学校第1回本科卒業生を対象としたアンケート調査の結果について触れておきたいと思います。彼らは、卒業して6年目を迎えた人たちで、進学した人を含めてほとんどの人が現在社会人として働いています。卒業生は、専門教育に関わる目標については、到達度評価の肯定意見（「十分に身につけさせている」や「おおむね身につけさせている」）の割合が全体の3分の2を超えていたのに対し、日本語の文章力や口頭的意思伝達力、英語の読解力や表現力、社会への関心や人間的基礎力、倫理観の涵養に関わる目標は、否定意見（「あまり身につけさせていない」や「全く身につけさせていない」）の割合が他の目標に比べて多くなっています（回答数124人八代キャンパス卒業生も含む）。



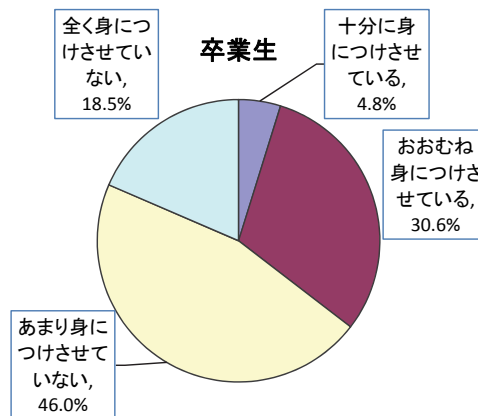
1-1: 日本語における適切な文章表現及び口頭的意思伝達ができる



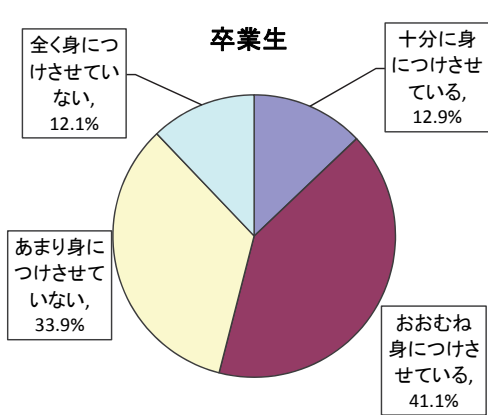
1-2: 日常的に使用される英語で書かれた文章の概要・要旨がつかめる



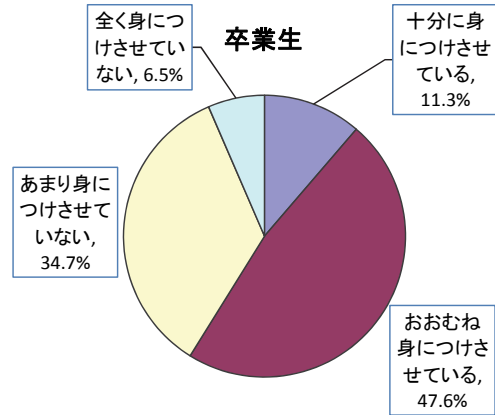
1-3: 自分の考え方を簡単な英語で表現できる



4-2: 日本と世界との関わりに関心を持つことができる



4-3: 社会参加のための、人間的基礎力を身につける



5-2: 社会における倫理的な問題を認識することができる

自由記述で「熊本高等専門学校卒業生の劣っている点をお聞かせください。」と問うてみたところ 83 名が記入してくれて、そのうち 33 名が「英語力」と回答しています。この回答が最も多く、次に 15 名が「専門的知識以外の一般的な教養」や「一般常識及び教養」、「語彙力」、さらに 13 名が「コミュニケーション能力」と回答しています。同質なものが集まっているなかで学園生活を送っているとあまり感じないかもしれませんが、これらの意見は、社会に出ていろいろな年代や経歴の人と一緒に 5 年間仕事をしたなかで、卒業生が肌で感じていることです。

最後に「熊本高等専門学校への御提言がございましたら、お聞かせください。」という質問には 39 人が母校を思って建設的な意見を書いてくださいました。そのなかで後輩に向けてのメッセージがありましたので、御紹介します。「自分の考えを述べられることや物事を論理的に考える力を身につけられるようになってほしい。自ら問題を発見し、解決するということに取り組んでほしい。人との関わりを大事にしてほしい。」

こうしたアンケート結果を重く受け止め、専門的知識や技術はもちろん、学生の皆さんに英語力や一般教養、コミュニケーション能力を身につけさせるために、図書館として果たすべき役割は何かを考えています。青年期の多感な時期を過ごしている学生の皆さんの琴線に触れる書物がきっとあると思いますので、それから多くの刺激を受けて感覚を研ぎ澄まし、才能の芽を伸ばしてほしいと願っています。



第1回ブックハンティング



第2回ブックハンティング

特集

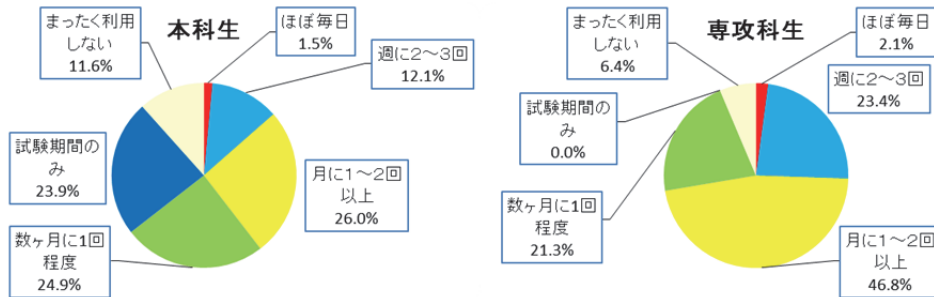
学生アンケート調査

今年度の学生アンケートで図書館の利用頻度や満足度を調査し、要望や提言を書きいただきました。御協力誠にありがとうございました。「くぬぎの森」第27号の特集は、アンケート調査結果の発表と学生の要望・提言に対する図書館からの回答を掲載することにしました。

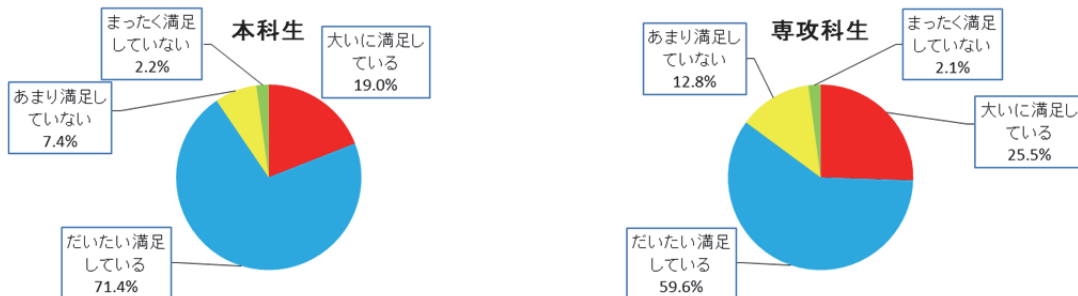
1. 図書館の利用頻度と満足度について

図書館の利用頻度と満足度については、熊本キャンパスの1年生を除く本科生473人並びに専攻科生47人に回答をいただきました。割合的には専攻科生の利用が本科生よりも多いですが、全く利用しない学生を除くと、利用頻度の違いはあれ本科生の88.4%、専攻科生の93.6%が利用しており、多くの学生が利用してくださっています。図書館の運営の満足度については、「大いに満足している」と「だいたい満足している」を合わせると、本科生は90.4%、専攻科生は85.1%が満足していると回答しており、満足度が高いことが分かります。財政的制約から学生の希望する書籍や雑誌が購入できなかったり、学習スペースが十分確保できなかったり、御迷惑をおかけしておりますが、これからもサービスの向上に努めますので、更なるご利用をお待ちしています。

昨年度、図書館の利用頻度（入館回数）はどれくらいですか。



現在の図書館の運営に満足していますか。



2. 図書館に対する要望・提言について

次に「図書館に対する要望や提言があったら、ぜひお聞かせください。」という設問には、自由記述にもかかわらず本科生71人、専攻科生7人の計78人が記入してくれました。図書館に対する学生の関心の高さを表していると思います。それを整理したものが次頁以下のものです。図書館からの回答は、各学科の先生方で構成される学術情報活用支援事業部で検討したものです。皆さんの御要望や御提言には誠心誠意お応えしようとは思っているのですが、財政的制約や図書館だけでは決められないこともあり、すぐには応えられないものがあります。その点、何卒ご容赦ください。

I. 本の種類についての要望・提言

・「話題の本」について

話題の本が沢山置いてあって、嬉しい。
特にありません。ほしい図書をリクエストした場合ちゃんと取り寄せてくれるのでありがたいです。
新書をもっと配架してほしい。最近話題の本などが少ないので配架してほしい

・「面白い本」について

読みたい本が少ないことがある。
面白い本が少ない
おもしろい本がない
本の数をもっと増やしてほしい。

図書館からの回答

「話題の本」・「面白い本」を読みたい人は、「希望の声」でリクエストしてください。さらに図書委員になって、ブックハンティングに参加しましょう！まずは、「希望の声」をあげなければ始まりません。人の嗜好は千差万別ですから、万人にとって「面白い本」を選書するのは至難の業です。これを読むと世界観が変わる、人生が変わる、面白い生き方ができる、というような“衝撃の一冊”を是非紹介してください。“心の感度”を上げて、ワクワク感・ドキドキ感を楽しみましょう。

・ライトノベル等について

ラノベだけではなく、もっと普通の小説も増やしてほしい

ライトノベルの本をもっと増やしてほしい。
ライトノベルをもっと入れてほしい
ライトノベルが少ない
ドラゴンライダーの続編をお待ちしています。
シリーズで欠けている本がいくつかあるため、それらの本を購入してほしい
学術書だけでなくもう少し文庫本を増やしてほしい
もっと文庫本を増やしてほしい。

京極夏彦の本をちゃんと揃えてほしい。

図書館からの回答

ライトノベルが多いと感じている人もいれば、少ないと感じている人もいるように、趣味・嗜好の違いがでてきます。本校は多様性に寛容で、個性を育む校風がありますから、むしろ真逆の意見ができることは健全な証拠だと考えています。純文学に対するライトノベルという分け方で、「芸術性に欠ける」、「娯楽性が高い」という理由で学校の図書館には相応しくないと、選書から外しているわけではありません。ライトノベルが大半を占める図書館って、高等専門学校の図書館としてどうなんだろうと考えるのです。限られた予算の中では、図書館として購入する分野の書籍に優先順位がつくのは致し方ありません。専門書しか購入しないわけではないので、読みたい本があったら「希望の声」に書いて、ポストに投函してください。

・専門書について

新しい専門書があるといいなと思います。
 実用書系や心理学系の新しい書籍を入れてほしいです。
 専門書が古い
 授業の参考書として図書室の資料を利用しているが、古いものが多いため、範囲が異なったりしている。できるだけ新しい資料を置いてほしい。
 技術系の資料をもっと充実させてほしい。現在ある技術書は古く、今では役に立たない部分も多いので、できるだけ最新の環境に対応した本をそろえてほしい。
 ソフト系の参考書でバージョンが古いものしかないものがある。最新版と仕様が違ったりするので新しいものも1つは入れてほしい。
 専門書が古いものが多いため新しいものに変えてほしい。特にプログラミングの本などで最新のものと違いすぎて苦勞しています
 blender の最新版の参考書を置いてほしい。
 専門書に限って他の研究室の先生のものであったり、比較的新しい物が少なく借りに行くとき置いていないという事が多々あったので、専門書をもっと充実すると研究生が助かるのでは無いかと感じます。
 専門科目の図書の充実には満足しているが、それから趣味に派生できるような図書も充実させてほしいと思う。

図書館からの回答

熊本キャンパスは、電子・制御・情報・通信系の知識・技術を習得する高等専門学校です。図書館のあり方としてはそれに関する教育・研究の専門書を充実することが第一義的使命だと考えています。この分野は、技術革新がものすごい早さで進んでいくので、専門書がすぐに役に立たなくなることは存じております。一口に専門書といっても多分野にわたるので、自分以外の人も読みそうな専門書は「希望の声」でリクエストしてください（自分しか読まないであろう専門書は、個人で購入してください）。

・就職関係・英語関係の書籍について

SPI や TOEIC などの最近の本を入れてほしい。
 英語の専門書を現在より増やしていただけたらなおよいと感じる
 英語の検定対策の本ばかりではなく、もっと基礎的な英語力を身につける本を取り寄せてほしい。
 もっと英語の勉強本を増やしてほしい
 語学学習の書物を充実してほしい。

図書館からの回答

本校は、グローバル時代に対応できる技術者の育成を目指しているため、奨学後援会からも助成金をいただき、英語関連のコーナーを作って、多読用の書籍や英検・TOEIC 対策用の書籍をたくさん購入し、ここ数年かなり充実したと思います。予算の許す限りで、最新のものは毎年数冊ずつでも購入しようと考えています。

館内で自習するときに、文法や英作文など語学学習用の参考書がすぐ手に取れるとはかどると思いますので、英語担当教員に相談するなどして、使いやすいものを「希望の声」に書いてリクエストしてください。

SPI や面接試験対策など就職関係の本は、同時期にたくさんの方が閲覧します。しかし、毎年一学年分購入はできないので、あくまでも就職に役立つような書籍のサンプルとして配架しています。この種の書籍はできるだけ個人で購入して欲しいと思います。新傾向の問題に対応するため、なるべく数冊は最新のものを取りそろえようと思います。

・ゲーム関係・漫画本について

trpg ルルブをおいてほしい。

全部そろってない漫画があるので揃えてほしい
松本大洋作品おいてください。

図書館からの回答

松本大洋の作品（「ピンポン」など）は、個人的には大変面白いと思いますが、漫画を購入すると際限がなくなりますので、熊本キャンパスの図書館では原則として学習漫画以外の漫画は購入しないことにしています。昔からある漫画は、寄贈でいただいたものだと思います。また、ゲーム関係のルールブックや攻略本等も同様に購入しないことにしています。

・スポーツ雑誌について

スポーツ系の定期的な雑誌を増やしてほしい。

雑誌の種類を増やしてほしい。特にスポーツ系の雑誌は少ないと思うので、一冊か二冊は増やしてほしい。

月間のスポーツ雑誌をもっと増やしてほしい

スポーツ雑誌を置いてほしい。

いろんなスポーツ月刊をおいてほしいです。サッカー、バスケなどなどお願いします。

図書館からの回答

年々図書館の予算は削減されており、そのなかで図書購入費を捻出しようと努力しています。定期刊行物を年間購読すると、図書購入費からそのためのまとまった額をあらかじめ確保しておかねばなりません。本キャンパスの図書館は、学術情報だけでなく、趣味や娯楽の情報も提供し、豊かな学生生活を過ごせるような機能を果たしたいと思っておりますが、学術雑誌の購読も削減しているなかでスポーツ雑誌を新規に購読することは、現状ではできません。

しかし、学生からの要望に応えるべく、何とか趣味や娯楽系の雑誌購入ができないものかと、現在、奨学後援会から助成金を支出していただけないかお願いしております。それが認められたら、来年度から購入できるようになるかもしれません。

II. 図書館の運営についての要望・提言

・職員の対応について

対応が少し暗い方がおられました。

学生バイトの対応が無愛想で少し怖い

図書館の事務員の方の声が大きい

図書館からの回答

明るい、暗いは職員の性格としてご勘弁ください。そのかわり皆さんのお役に立てるよう親身になって働きますので、何なりと御相談ください。また、館内の静粛に努めます。

・静かな学習環境について

学習室で大きい声で騒いでいる人に注意してほしい。

テスト期間中、個別の自習室で話し合いながら勉強する後輩（制服）がいて集中できない。

もう少し静かな環境にしてほしいです

もう少し静かな環境にしていきたい

図書館内での飲食や雑談を少なくしてほしい

図書館からの回答

館内見回りを徹底し、学習スペースでの静寂な環境保全に努めます。マナー違反の学生を見かけたら、学生同士で注意してくれると助かります。

・グループ学習室の利用について

グループ学習室の時間管理が悪い。時間がきたら部屋を出るように注意喚起してほしい
自習室の利用をもっとしやすくしてほしいです。

図書館からの回答

自習室の利用時間の厳守に努めます。また、自習室の利用がしやすいように検討したいと思いますが、具体的にどこが利用しにくいのか、また改善策など御提案を「希望の声」に書いていただくと大変助かります。

・貸出について

貸し出しの期間のバリエーションを増やしてほしい。
返却までの期間を延ばしてほしい。

貸し出し期間が短い

同時に借りられる本の冊数, 貸出期間をもっと長くして欲しい。

一週間に借りられる本の数を増やしてほしい

一度に貸し出せる冊数が少ない

一度に借りられる本の冊数を増やしてほしいです。

貸出の延長の手続きが面倒。カウンターに行かなくても延長できるようにしてほしい。

教員室に貸し出されている書籍を借りたい。

CDの貸し出しをしてほしい。

図書館からの回答

貸出については、「貸出しの種類」では一般貸出と長期貸出に分けて貸出期間を、また「借受者」では一般の学生と「卒業研究及び特別研究を履修する学生」に分けて貸出冊数を、変えています。それ以外に何かバリエーションが考えられるのであれば、理由などをお書き添えの上「希望の声」に書いてください。検討させていただきます。

返却期間の延長は、予約が入っていなかった場合は、延長手続を行えば引き続き借りることができるので、今のところ考えておりません。延長する場合にカウンターで手続をしていただくのは、書籍の状態を確認する意味もあります。

一度に借りられる冊数の増加については、御要望にお応えして、通常は3冊以内から5冊以内へ、夏季及び冬季休業期間中は5冊以内から10冊以内へ増やすことに決定しました。今年度試行的に行って参りましたが、予約待ちが頻繁に発生するなどの弊害もなかったため、利用規則を改正して正式に来年度から施行します。

教員室に貸し出されている書籍を借りたい場合は、図書館職員に御相談ください。教員が保管している書籍には教員の研究費で購入したものが多くありますが、その先生が貸しても良いということであれば、借りることができます。

CDの貸出については、御要望にお応えして貸し出しできるよう、無断持ち出し防止用磁気テープ貼付けやデータベースへの登録を進めます。

・開館時間について

営業時間延長

冬に退館時間が短くなるのは、困っているから夏と同じ時間、開館してほしい。
いつ図書館が開館しているかよく分からないため、今日図書館が開館しているかどうか分かる Web サイトが欲しい。

図書館からの回答

熊本キャンパスでは、学生の活動時間というのが、10月～3月は19時までと決まっています。後期試験前など図書館で勉強したい気持ちはよく分かりますが、学生の生活全般に関することなので、図書館の意向だけでは開館は延長できません。学生主事には御相談しています。

図書館の開館日は、本校の公式 Web サイトの図書館のページの「熊本キャンパス図書館」の「開館日カレンダー」を御覧ください。開館日・開館時間に関しては、今年度試行的に、夏季及び冬季休業期間の平日は、17時までを夏季は20時まで、冬季は19時までに延長して、また、土曜日は休館日だったのを、通常通り開館しました。その結果、利用者も多かったため、利用規則を改正して、来年度から正式に施行いたします。

・その他

新刊の本が入ったときにメールで知らせてほしいです。
風の谷のナウシカが見つかりません。見つけやすいところにあるとうれしいです。
日向側の本棚が日焼けしており保存状態が非常に悪いものがある。
かぶっている本は別の場所へ移動させるべき。
飲食禁止となっているが、蓋付等の条件付でも飲み物は持込可にしてほしい。
新刊の本が入ったときにメールで知らせてほしいです。
四月ぐらいに教室で配られる図書室案内を利用していない生徒が大多数だと思うので必要ないと思う。

図書館からの回答

新刊書籍を配架したときにメールでお知らせするのは可能です。実施を検討してみます。
「風の谷のナウシカ」の場所を知る方法は、検索用の PC で検索するとすぐに見つけられると思います。試してみてください。
本の日焼けなど保存状態に関して御指摘をいただきましたので、確認し検討いたします。
重複本の御指摘については、今年度前半で重複本の整理を行ないました。現在、重複本はほとんどないと思われます。新刊書籍の配架スペース確保のために、重複本や利用頻度が少ない書籍の整理を行っています。
現在、飲食物の館内持ち込みは書籍や室内を汚す恐れがあるため禁止しています。これを許可するかどうかが難しい問題ですが、検討させていただきます。
年度当初に配布している「図書館利用案内」ですが、開館日・開館時間・貸出冊数の変更など重要な情報が年度により変更されているものがあります。購入希望書籍のリクエスト方法なども書いてありますので、毎年確認してほしいと思います。

Ⅲ. 施設・設備についての要望・提言

・冷暖房について

暑い時期に冷房がついていない時があって、学習に集中しづらいことがあったので、要望があれば冷房をつけるようにしてほしい。
熱いときや湿気が高いときだけでいいから、エアコンを回してほしい。
早めの冷暖房

図書館からの回答

学校全体で節電に取り組んでおります。学校の実施要綱に従って空調を管理しています。図書館のみ別の対応はできません。ご了承下さい。扇風機は早めに設置しておりますので、扇風機をご利用下さい。

・学習スペースの増設について

もっと机を増やしてください。

座席を増やしてほしいです。

もう少し勉強できる机を増やしてほしい。

1年生でも使えるスペースを確保してほしい。先輩に全部占領されることがあるから。

・グループ学習室の増設について

グループで学習できる部屋をもう少し増やしてほしい

グループ学習室の部屋数を増やしてほしい

グループ学習室を増やしてほしい。

図書館からの回答

閲覧室の学習机や椅子の増設について、施設係と相談しましたが、スペース的に無理かと思われる。また、閲覧室の学習スペースを学年別に分けることは考えておりません。先着順で利用していただいています。

グループ学習室の増設についても施設係と相談しましたが、DENの部分に少人数（2人～3人用）の部屋を1つ増設すること、また、ICT学習ルームに2部屋ぐらい増設することは、物理的には可能なようです。部屋を細かく仕切ると、スペースの自由度がなくなり使いづらくなるデメリットや、改修に伴う経費的な問題も考慮しなければなりませんので、今後の検討課題とさせていただきます。

・コピー機の設置について

過去問が印刷できないので、図書館にコピー機を置いてほしい

コピー機が移動したため、過去問を閲覧した際にコピーできない為、非常に不便を感じる。

過去問を写真でとらないといけなくなったため、学習し辛く感じました。

印刷機がくぬぎ会館に移動してしまったため、過去問の印刷ができなくなってしまったので、また元に戻してほしいです。

コピー機を図書館に入れてほしい

過去問をコピーしたいのでコピー機を図書館に戻してほしい

コピー機を設置してください。クヌギ会館まで過去問を持ち出せないの。

図書館からの回答

著作権法上、図書館に設置されるコピー機は、図書資料及び文献の複写等という目的に限られた使い方しかできません。また、過去問は図書資料ではありません。つまり、館内に設置されたコピー機で過去問を印刷することは、法律違反になります。現在、熊本キャンパス図書館では、学生及び一般の方々への図書資料の複写サービスは行っておりません。従来、館内に置いてあったコピー機は、魚国総本社が管理運営していたものです。

過去問を所掌しているのは学生課教務係で、図書館は貸出を依頼され行なっているだけです。かといって不便なのは学生ですので、教務係と相談し、過去問をどこに設置するのが良いのかなど、教務委員会で検討してもらうように依頼しています。

ちなみに、WebClassで過去問が公開されていない教科があるようですが、著作権法上、ある作品の文章を試験問題に引用することはできても、ネットで公開することは同法違反になる場合があるので、全ての過去問を公開することはできないようです。

図書館統計（平成27年4月～12月）

（平成28年1月15日現在）

入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	3,870	3,764	5,448	6,330	2,527	2,227	3,347	5,530	2,474	35,517

蔵書数	和書	洋書	合計
	67,862	4,326	72,188

日本十進分類法(NDC)	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術工業	6 産業	7 芸術・美術	8 言語	9 文学	合計
分野別貸出冊数	7,411	2,961	5,462	7,646	10,333	14,833	1,333	3,332	4,945	13,932	72,188

月別貸出冊数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1年生	146	39	42	18	74	18	28	36	40	441
2年生	36	18	32	13	19	35	28	8	32	221
3年生	218	119	184	143	105	12	102	115	163	1,161
4年生	36	30	50	29	110	23	57	50	108	493
5年生	118	45	54	44	90	27	72	59	102	611
専攻科1年	42	45	26	18	27	10	18	29	45	260
専門科2年	69	85	67	64	46	16	38	53	19	457
教職員	126	74	100	82	64	212	85	91	86	920
一般利用者	12	7	5	9	12	14	11	10	9	89
八代C	1	5	0	0	0	2	1	0	0	9
他大学高専等	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
合計	804	467	560	420	547	369	443	451	604	4,665

開館時間

曜日	対象期間	時間
平日	4月～9月	8:30～20:00
	10月～3月	8:30～19:00
土曜	4月～3月	10:00～12:00, 13:00～16:00
日曜・祝日	終日閉館	

貸出期間と貸出冊数

貸出の種類	拝受者	貸出期間	貸出冊数	備考
一般貸出	教職員	2週間	5冊以内	
	学生			
	一般			
長期貸出	教職員	2ヶ月	10冊以内	教育及び研究に必要な図書館資料に限る
	学生	春季・夏季・冬季休業期間	10冊以内	
	卒業研究用 特別研究用	2ヶ月	10冊以内	卒業研究及び特別研究に必要な図書館資料に限る

